

「こおりやまの米」通信

平成28年9月5日

編集：郡山市
 JA福島さくら郡山地区本部（TEL. 921-0533）
 NOSAI福島郡山田村支所（TEL. 933-3307）
 県中農林事務所農業振興普及部（TEL. 935-1310）
 発行：郡山市農作物生産対策協議会（郡山市園芸畜産振興課 TEL.924-3761）



Vol.8 刈取り適期特集

* 最新号はJA各支店窓口に備え付けてあります

刈取り適期は平年並みの見込みです。丁寧に仕上げ、全量1等を目指しましょう！

1 生育概況

平年に比べ平坦部は、稈長がコシヒカリ、天のつぶで平年並み、ひとめぼれでやや短くなり、穂長は各品種とも平年並み、穂数は平年並みからやや少なくなっています。

湖南地区は稈長が平年より長く、穂長はやや短く、穂数は平年並みからやや少なくなっています。

出穂は、平坦部の「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」、「天のつぶ」、湖南地区の「あきたこまち」でほぼ平年並みとなりました。ただし、同じ品種でもほ場条件や田植の早晚によって多少異なります。

地域	品種	出穂期		
		本年	前年	平年
平坦部	ひとめぼれ	8月 5日	8月1日	8月 5日
	天のつぶ	8月 8日	8月2日	8月 7日
	コシヒカリ	8月13日	8月9日	8月11日
湖南	あきたこまち	8月 5日	8月2日	8月 6日

2 天気予報

＜東北地方 3か月予報＞

（8月24日 仙台管区气象台発表）

9月 前線や暖かく湿った気流の影響で、平年と比べ曇りや雨の日が多いでしょう。また平均気温は高い見込みです。

10月 高気圧と低気圧が交互に通るでしょう。気温は平年並みか高い見込み、降水量はほぼ平年並みの見込みです。

※詳しくは、最新の天気予報をご確認ください。

3 水管理

「乳白粒の発生を防止し、品質向上に努めましょう！」

落水時期は、出穂後30日を目安とします。9月は気温が高い見込みとなっていますので、なるべく登熟後期まで土壌水分を維持するよう努めましょう。

早期落水は根の活力を低下させ葉鞘の枯れ上がりを助長するため、倒伏の原因となります。また、乳白粒を増加させるなど品質を落とす原因ともなるのでご注意ください。

ほ場が軟らかい場合は、排水溝を切ったり、間断かん水の水を入れない期間を長くとり等工夫しましょう。

4 適期刈取

（1）穂の黄化状況から見た適期

ほ場全体を見渡して平均的な株の穂の黄化程度を観察し、もみの80～90%が黄化した時期が刈取り適期です。

ほ場によって地力の違いから黄化率にムラがありますので、収穫間際になったらほ場別に確認し刈り遅れを防ぎましょう。



地域	主な品種の出穂期	9月4日までの積算気温(°C)	各積算気温の到達日*			
			950°C	1,000°C	1,050°C	
			ひとめぼれ	天のつぶ		
あきたこまち	← コシヒカリ →					
平坦部	8月 5日	ひとめぼれ	738	9月14日	9月16日	9月19日
	8月 8日	天のつぶ	656	9月18日	9月20日	9月23日
	8月13日	コシヒカリ	532	9月24日	9月27日	9月30日
湖南	8月 5日	あきたこまち	693	9月17日	9月19日	9月22日

※ 「各積算気温の到達日」は、9月4日までの実測値、それ以降は平年値で算出。

なお、平坦地はアメダス郡山、湖南地区はアメダス猪苗代のデータで算出。

※ 上記の予想日は目安です。必ずほ場を確認し適期収穫に努めましょう。

出穂期以降の積算温度からの刈取り適期の目安

950°C程度：ひとめぼれ、あきたこまち

1,000°C程度：天のつぶ

1,000～1,050°C程度：コシヒカリ



(2)積算気温からの適期予想

出穂期以降の積算気温による刈取りのめやすは、前ページの表のとおりです。刈り遅れないよう準備を進めてください。

今後の気温が平年並みに推移した場合の刈取り適期は、平坦部「ひとめぼれ」、「天のつぶ」、湖南「あきたこまち」ではほぼ平年並み、「コシヒカリ」は平年よりやや遅くなる見込みです。

(3)刈り遅れは品質低下の原因となります！

刈り遅れは、胴割れ米の発生や、玄米の光沢の低下、着色粒の増加など、品質を低下させます。稲の生育や天候を良く確認し、適期を逃さず収穫しましょう。

5 乾燥調製 ～丁寧に仕上げ、1等米比率の向上に努めましょう！～

- ① 乾燥機、籾摺り機等はよく掃除し、別の品種や異物が混ざらないように気をつけてください。
- ② クサネムは種子が混入しないよう、刈り取り前に抜き取ってください。
- ③ カメムシによる品質低下に注意しましょう。
- ④ 収穫後、直ちに乾燥機に張り込み、通風乾燥を行いましょ。
- ⑤ 高水分の生籾は乾燥機をいったん止め、乾燥ムラを防ぎましょ。
- ⑥ 仕上げ目標水分15.0%を守ってください。
- ⑦ 高温での籾摺りは肌ズレしやすいので注意してください。
- ⑧ 選別は、選別機の網目1.85mm以上を用い、機械の能力に合った流量を守ってください。
- ⑨ 計量器はあらかじめ点検し、決められた量目で袋詰めし、出荷してください。

☆放射性物質による汚染を防ぐため、土壌の籾への付着や玄米への混入を防止しましょう！☆

- ・作業前に機械、作業場の清掃を徹底して行ってください！
- ・コンバイン収穫は泥を巻き込むことのないよう丁寧に作業してください。
- ・バインダ収穫は泥がつかないよう雨天時を避け、稲体が乾燥した状態で行ってください。
- ・床に落ちた玄米は再投入せず、米袋は汚染のない新品を使用しましょう！

6 農作業安全 大型機械を扱うことが多い時期です。家族や仲間と声掛け合って、農作業事故をなくしましょう！

【秋の農作業安全確認運動】重点推進期間中(9/1～10/31)

～ノーマス・ノーマ事故・農作業～

[農作業時、こんな事故が起っています。]

トラクターによる事故

- ・トラクターが転倒・転落し、投げ出されて機械の下敷きになった。

耕耘機、草刈機による事故

- ・耕耘機をバックさせ、木と機体の間に挟まれた。
- ・草刈り中、足を滑らせて草刈り機で足を切った。

高所での作業中の事故

- ・脚立に上って作業していたところ、転落してしまい頭を打った。

機械への巻き込まれ事故

- ・コンバインで手こぎ作業を行っていたところ、手が巻き込まれた。

農作業事故
多発中！！



○安全な29年産米の生産に向けて

- ・ばか苗病は自家採種で発生しやすいため、毎年種子更新を行い、健全な種子を使用してください！
- ・収穫後の稲わらは重要なカリ供給源となります。ほ場へ還元し、良質な土づくりに努めてください！

平成28年産米の全量全袋検査への御理解と御協力をお願い

昨年に引き続き、平成28年産米についても販売米、縁故米、くず米等、生産されたすべての玄米を対象として「全量全袋検査」を実施します。JAや米穀出荷業者等で行う検査を受けて安全を確認した上で、米を販売、譲渡、消費されるようお願いいたします。

なお、土やゴミ等の異物混入による基準値超過を防ぐため、米の調製作業時は、作業場や乾燥・調製機械の清掃等、異物混入の防止策の徹底をお願いいたします。

なお、28年産米用のバーコードラベル（紫色）を発送しておりますので、過去のバーコードラベルを添付しないようご注意ください。

問い合わせ先：郡山市農業政策課 TEL 024-924-2201 県中農林事務所農業振興普及部 TEL 024-935-1310